



2022年11月30日

投資ポートフォリオの温室効果ガス排出量ネットゼロに向けた 中間目標の設定について

SOMPOアセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 小嶋 信弘、以下「当社」）は、2050年までに投資ポートフォリオの温室効果ガス（GHG）排出量ネットゼロ^{※1}の実現を目指すネットゼロ・アセットマネージャーズ・イニシアティブ（以下、NZAM）へ2022年1月に参画していますが、今般、2030年に向けた中間目標を設定しましたので、お知らせいたします。

1. 当社の責任投資指針とESG/スチュワードシップ活動

当社は、「中長期の本源的投資価値を投資判断基準とするアクティブ・バリューマネージャー」として、財務情報のみならず、ESG 情報などの未財務情報についても的確に把握し、投資先企業の投資価値を評価するESG インテグレーションに長年取り組んでいます。1999年9月に運用を開始した「損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）」を初めとして、ESGの観点をより強調した運用商品も積極的に展開してきました。

NZAMが目指す2050年GHGネットゼロというコミットメントは、「良質なアクティブ運用を提供する」ことを通じて「投資先や社会、経済全体の持続的発展に寄与する責任投資に努める」とする当社の責任投資の指針にも合致するものです。

2. 中間目標の概要

運用資産（2022年3月末）の40%を対象に、2030年までに2019年対比でGHG排出量の50%削減を目指します。なお、今回設定した中間目標では株式および社債を対象資産としています。その他の資産についてはGHG排出量の計算方法等が確立した後に対象に追加する予定ですが、上記に国債を加えた場合は70%となります。

当社では、投資先企業との対話において体系化したエンゲージメント活動としてGHG排出削減の中期目標策定を企業に働きかける取り組みをすでに開始しています。そうした活動に加えて、GHG排出量のモニタリングを行いつつ、ネットゼロ目標の策定といった企業の活動をさらに後押ししていくことなどを通じて目標の達成を目指します。

3. 今後について

当社は、GHG排出量が多い企業に対して協働エンゲージメントを行うClimate Action 100+を初めとして、これまででもESGやスチュワードシップに関する国際イニシアティブへの取り組みを行ってきました。スチュワードシップ活動の一層の取り組み推進、運用力の強化にさらに努めることで、持続可能な社会形成に貢献し、お客さまの中長期的なリターンの向上を目指していきます。



SOMPOグループは、NZAM、「NZAOA：ネットゼロ・アセットオーナーズ・アライアンス※2」「NZIA：ネットゼロ・インシュランス・アライアンス※3）へ加盟しており、2050年までにGHG排出量のネットゼロを目指す金融機関のグローバル連合である Glasgow Financial Alliance for Net Zero(GFANZ)傘下の3つのネットゼロ・アライアンスに加盟しています。

SOMPOグループでは、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことができる社会を実現する」という「SOMPOのパーパス」の実現に向け、取引先等のステークホルダーとともに、「経済・社会・環境が調和したグリーンな社会づくりへ貢献」を実践していきます。

※NZAMは2020年12月に発足した資産運用会社の国際的なイニシアティブで、参画した機関は2050年までに投資ポートフォリオのGHG排出量をネットゼロにするコミットメントを行います。2022年10月27日時点で、世界で292機関が参画し、総運用額は約68兆ドルに及びます。

※1 「2050年までに投資ポートフォリオのGHG排出量を実質ネットゼロ」にすることの意味

2015年に開催されたCOP（気候変動枠組条約締結国会議）21では、産業革命以降の世界の平均気温の上昇を2度未満に抑えることで合意（パリ協定）しましたが、その後のCOP26では1.5度未満に抑えることが求められるようになっていきます。この達成には2050年時点での脱炭素化が必要であり、NZAMのコミットメントと整合的なものとなっています。

※2 NZAOA

国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）と責任投資原則（PRI）の主導により、2019年9月に設立された国際的なイニシアティブで、アセットオーナーが連携して2050年までに投資ポートフォリオのGHG排出量をネットゼロとすることを目指しています。加盟機関数は74機関、運用資産総額は10兆ドル以上にのぼります（2022年9月現在）。

※3 NZIA

国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）により2021年7月に設立された国際的なイニシアティブで、2050年までに保険引受ポートフォリオのGHG排出量をネットゼロとすることを目指しています。NZIAでは現在、保険引受ポートフォリオのGHG排出量の測定、目標設定の手法などを開発しており、世界保険料総額の14%以上を占める29社が加盟しています。（2022年11月現在）。

以上

【問い合わせ先】

SOMPOアセットマネジメント株式会社

責任投資部 森田・角田 TEL 03-5290-3467 snam_rio@sompo-am.co.jp

経営企画部 伊藤 TEL 03-6895-3675